

フットサルを地域経済の起爆剤に。

フットサルのスポーツ人口は世界的に急増している。野球やサッカー人口をしのいだとも言われている。

サッカーは国内ではプロチームの戦うJリーグが誕生して久しい。地域の街おこしとして着実に成果をあげている。

そして今、注目されているのがまさにフットサルだ。二年前にプロリーグも発足し、名古屋を皮切りに八チームのプロチームが誕生し、地域の名前を入れて地域活性の起爆剤として

成果をあげている。グッズ販売や大会開催での観光客の動員などホテルや飲食業、商店街が潤い、蘇った事例が報告されている。

まずはフットサル場を建設する。新南陽から光地区全域を活性できる。地域の産業の紹介、観光地の案内、名産品の販売など、県外から来た人に周南地区を楽しんでもらい、地域の人に喜ばれる空間にする—そう話す橋本さん。

将来を見据えて前向きにいきたい。地域と連携して、どう経済を活性化できるか仲間を

今から増やそう—金子さんと橋本さんが固い握手を交す。金子さんと橋本さんは小中が同じ学校。橋本さんは一学年上でサッカー部の先輩。

この計画はプロサッカーチームからサッカー教室の地区拠点にとオファもきている。大手企業から運営への参画も具体案が提示された。条件をクリアするため立地の選定に動き出した。中・四国地区にはプロチームはなく、地域にとって今後の展開が楽しみだ。(杉川)

始動した絆。

青春時代を共にサッカーのグラウンドで歓喜した二人。

フットサルの新施設は大型駐車場のあるドーム型を計画。地域からの店舗誘致、特産品や名産品などを扱うことで周南全域の良さをアピールし地域活性につなげる。青少年育成の場やだれもが気軽に立ち寄れる地域交流の施設として老若男女が安心して運動できるスポーツコートを導入する。

山口県スポーツ振興委員会
橋本 真治委員長

周南フットサルリーグを2007年からスタートさせ県東部で48チーム、600人が携わる大会を運営●ジャパンビーチサッカーネットワークの県代表を務め、世界大会に日本代表選手も送り出した●若者出逢い支援事業や国際交流も展開●下松市末武中33-77●TEL.0833.41.6969

(株)ハウスクリエーター
金子 勝代表

徳山商工会議所青年部所属●橋本さんの後輩として地域活性化に取り組む仲間●大工の棟梁の息子として、新しい連携スタイルで地域経済に新しいビジネスの風を●増改築は年間100件以上、上、新築は年間数十棟にもなる●絆を大切にす経済人●下松市西豊井173-2●TEL.0833.44.0002



記者探訪。

聞き手:新周南新聞社経済部部長 杉川茂